

更新

事業者名

一般社団法人熊本県森林インストラクター協会

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

少子高齢化が進む中、退会者が多く、入会者も高齢であるという組織体制なので、知識・技能の引継ぎが喫緊の課題となっている。事あるごとに若者の参加を呼びかけるとともに、後継者の育成を行う。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	小山山(熊本市)竹林、大津の森(大津町) 森づくりを通して森林を理解する実習の場として活用。森林インストラクターの養成のための実習を行う。	項目	活動参加者
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		51名	60名
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	自然保護・環境教育・森林インストラクター養成 自主研修実施によるスキルアップ・社会貢献活動。 CO_2 削減を目指し植林や下草刈り・間伐の継続実施	項目	研修参加者
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		30名	30名
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	観察会、物づくり体験などを通じて林産物の活用を図り、自然に親しんでもらう。森の重要性を理解してもらう。	項目	ガイド・観察会参加者
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		414名	500名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

観察会などを通じて県民の皆さんと信頼関係を構築するとともに、少子高齢化が進む中であるが森林インストラクターが更に誕生するよう、会員全員で新規会員の確保に努める。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	小山山(熊本市)竹林、大津の森(大津町) 森林を理解する実習の森。人材育成、森づくり、森林インストラクター養成講座・実習の森。	活動参加者 70名 実習参加者 20名
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	実施日が雨などで参加者数が減少し、また「大津の森」が県の砂防堰堤の対象エリアとなったため、対応に稼働が割かれ未達成となった。	活動参加者 51名 実習参加者 16名
三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	自然保護・環境教育・森林インストラクター養成 自主研修実施、スキルアップ及び社会貢献活動。 CO_2 の吸収効率を上げる植林や下草刈り・間伐の継続から水源涵養、砂防、 CO_2 削減	研修参加者 20名 実習参加者 20名
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	養成講座での野鳥観察や大津の森でのスキルアップ研修により実習や研修ができ、達成できた。	研修参加者 30名 実習参加者 11+11=22名
三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	観察会、山菜料理・物づくり体験教室などを通して子供から大人に向けて自然環境に興味を持つ機会を設けている。森/もの作り参加会員に材料・工具提供	ガイド・観察会参加者 500名 もり/物づくり 30名
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	観察会などが大雨により中止になったり、熱中症アラートの頻繁な発出に伴い参加控えなどが起こり、参加者が減少した。熱中症を警戒し真夏の実施計画をなくそうと提案したが棄却され、最終的に未達成となった。	ガイド・観察会参加者 414名 もり/物づくり 42名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。